VH410
ユーザーガイド

Bluetooth®

Sony Ericsson VH410

Prior to use, please read the *Important information* leaflet separately provided.

Publication number: 1234-1319.2

図 5

図 1

図 2

図 3

図 4

図 6

はじめに

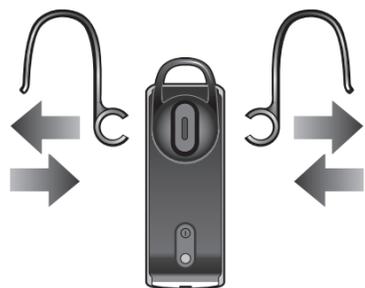
VH410 は、*Bluetooth* 無線技術を利用したワイヤレスヘッドセットです。
携帯電話などと接続してハンズフリーで通話ができます。
本ヘッドセットは、マルチペアリングおよびマルチポイントに対応しており、最大 8 台までの *Bluetooth* 機器とペアリングができ、そのうち 2 台まで同時に接続できます。
ご利用にあたっては、携帯電話またはその他の機器が次の *Bluetooth* プロファイルのいずれかに対応している必要があります。

- HFP（ハンズフリープロファイル）
- HSP（ヘッドセットプロファイル）

※HFP と HSP 両方に対応している携帯電話の場合は、HFP を使用してください。
※HSP を使用して携帯電話を接続した場合は、一部機能に制限があります。
※*Bluetooth* プロファイルとは、機器の特性ごとに *Bluetooth* 機能を標準化した規格です。

各部の名称

図 1 を参照してください。

1. スピーカー
2. イヤーフック
3. 電源ボタン ①
4. 充電ランプ
5. マイク
6. カバー
7. 音量ボタン
8. 通話ボタン
9. 充電端子（microUSB）
10. イヤーパッド

充電

本ヘッドセットを購入後、はじめて使用する場合は付属の充電器で約 8 時間充電する必要があります。
2 回目以降の充電時間は約 3 時間です。

ヘッドセットの電池を充電する

1. 付属の充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. コネクタの向きに注意して付属の充電器をヘッドセットの充電端子に挿入します。

※⚡マークが付いた側を VH410 のソニー・エリクソンの緑色のロゴがある側に向けて挿入してください。（図 2 を参照）
※充電開始時は、充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると緑色の点灯に変わります。
※必ず付属の充電器を使用して充電してください。
※付属の充電器は、ソニー・エリクソン製のワイヤレスヘッドセット以外には使用しないでください。
※充電中は、ヘッドセットを使用することはできません。

ヘッドセットの装着方法

1. イヤーフックを耳の裏にスライドします。（図 3 を参照）
2. マイクを口に近づけます。（図 4 を参照）

※ヘッドセットは、イヤーフックを使用しなくても装着できます。また、イヤーフックの向きを変えることで左耳、右耳のどちらでも装着できます。イヤーフックの外し方、取り付け方については図 5 を参照してください。取り外し、取り付け時に無理な力を加えると、イヤーフックが破損するおそれがありますのでご注意ください。
※サイズの異なるイヤーパッド 2 種類とネックストラップが同梱されています。イヤーパッドは、耳に合ったサイズをお選びいただけます。また、イヤーフックを外してネックストラップを取り付けることもできます。（ネックストラップは、着脱が容易になっていますので、ヘッドセット本体の紛失にご注意ください。）

ヘッドセットのオンとオフ

ヘッドセットの電源をオンにする

- 充電ランプが緑色または赤色に点灯するまで電源ボタン①を長押しします。
（充電ランプが約 3 秒間点灯し、消灯するとヘッドセットがオンになります。）

※充電ランプが赤色に点灯した場合は、電池の充電が必要です。
※はじめてヘッドセットの電源をオンにしたときや、ヘッドセットのリセットを行ってペアリングされている機器がない場合は、充電ランプが緑色と赤色の交互に点滅し、ペアリングモードになります。
※ペアリング済みの機器がある場合は、ヘッドセットとの接続履歴が新しい機器から順に接続が行われます。

ヘッドセットの電源をオフにする

- 充電ランプが緑色または赤色に点滅するまで電源ボタン①を長押しします。

※充電ランプが赤色に点滅した場合は、電池の充電が必要です。

ヘッドセットのペアリング（登録）

ヘッドセットを使用する前に、ヘッドセットと接続機器のペアリング（登録）が必要です。
リセットなどによりペアリング情報が消去されたり、別の機器とのペアリングで上書きされない限り、一度ペアリングすれば次回からペアリング操作をする必要はありません。
購入後はじめて使用する場合や、ヘッドセットのリセットを行ってペアリングされている機器がない場合は、ヘッドセットの電源をオンにすると自動的にペアリングモードになります。

ヘッドセットを携帯電話とペアリングする

1. ヘッドセットの電源をオフにします。
2. 携帯電話をヘッドセットに近づけます。
3. 携帯電話の *Bluetooth* 機能をオンにします。
4. 携帯電話で *Bluetooth* 検索（探索）モードをオンにします。
5. 充電ランプが緑色と赤色の交互に点滅するまでヘッドセットの電源ボタン①を長押しします。
6. 携帯電話の画面に表示された「VH410」を選択します。
7. 携帯電話の画面でパスキーの入力が要求されたときは、「0000」を入力します。

※携帯電話の操作方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
※手順 6 で「VH410」が表示されない場合は、もう一度携帯電話で *Bluetooth* 検索するか、手順 1 からペアリング操作をやり直してください。
※パスキーは、パスコード、PIN コード、PIN ナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヘッドセットを他の機器とペアリングする

- ヘッドセットを携帯電話以外の機器とペアリングするときも、携帯電話のペアリングと同様の手順で操作してください。

複数の機器とペアリングする

- 2 台目以降の機器とのペアリングも 1 台目のペアリングと同じ手順で行ってください。
- 最大 8 台までペアリングできます。

※8 台の機器がペアリング済みの状態で、新たな機器をペアリングすると、8 台の中で接続履歴が最も古い機器の情報が、新たな機器の情報で上書きされます。

接続

ヘッドセットからの接続

- ヘッドセットの電源をオンにすると、前回接続した携帯電話に対して自動的に接続を行います。
- ヘッドセットの電源がオンで携帯電話と未接続状態の場合は、通話ボタンを押すと、前回接続した携帯電話に対して接続を行います。
- 前回接続した携帯電話が通信範囲外にあったり、電源がオフになっていた場合は、ペアリング済みの機器の中から接続履歴が新しい順に、接続が成功するまで接続を行います。

※マルチポイントモードが有効に設定されている場合は、2 台の機器と接続されるまで接続を継続します。

携帯電話からの接続

- ヘッドセットの電源がオンで携帯電話と未接続状態の場合は、ペアリング済みの携帯電話から接続操作を行うことも可能です。携帯電話から接続する方法については携帯電話の取扱説明書を参照してください。

※一部の携帯電話では、携帯電話からの接続ができません。その場合は、携帯電話の *Bluetooth* 機能をオンにした状態で、ヘッドセットから接続を行ってください。

接続する携帯電話を切り替える

- ヘッドセットと携帯電話が接続されている状態で、接続する携帯電話を切り替えたい場合は、切断したい携帯電話を操作して接続を切断した後に、新しく接続したいペアリング済みの携帯電話を操作して接続を行ってください。

※新たに接続したい携帯電話がペアリング済みでない場合は、ペアリングを行ってください。
※マルチポイントで 2 台の携帯電話と接続されている状態で接続する携帯電話を切り替える場合も、同様の操作を行ってください。（切断したい携帯電話を操作して接続を切断した後に、新しく接続したいペアリング済みの携帯電話を操作して接続を行ってください。）

通話

ヘッドセットとペアリング済みの携帯電話が接続されている間は、ヘッドセットを使用して携帯電話の以下の操作ができます。

- 通話
- 終話
- 着信応答
- 着信拒否
- 音量調節
- ミュート（消音）
- 割り込み着信応答
- 音声の転送

電話をかける

- 携帯電話を操作して、通常通り電話をかけます。（ヘッドセットで自動的に通話ができます。）

※発信後ヘッドセットで自動的に通話ができない場合は、ヘッドセットの通話ボタンを押すか、携帯電話の操作を行ってください。携帯電話の操作方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

電話を切る

- 通話中にヘッドセットの通話ボタンを押します。

着信に応答する

- 着信中にヘッドセットの通話ボタンを押します。

※着信中は、ヘッドセットから通知音が鳴ります。携帯電話によっては、着信時にヘッドセットから携帯電話の着信音を鳴らすように設定できる場合があります。携帯電話の取扱説明書を参照してください。

着信を拒否する

- 着信中に通知音が鳴るまでヘッドセットの通話ボタンを長押しします。

受話音量を調節する

- 通話中に音量ボタンを押します。

※携帯電話がヘッドセットの音量を調節する機能に対応している場合は、携帯電話を操作して受話音量を調節できます。携帯電話の取扱説明書を参照してください。

マイクをミュート（消音）する

- 通話中にヘッドセットの音量ボタンの「－」側と「＋」側を同時に押します。

※マイクのミュートを解除するには、もう一度、ヘッドセットの音量ボタンの「－」側と「＋」側を同時に押してください。

割り込み着信に応答する

- 通知音で割り込み着信をお知らせします。
- 割り込み着信に応答するには、ヘッドセットの通話ボタンを押します。通話中だった相手との通話が保留になります。
- 割り込み着信を拒否するには、通知音が鳴るまでヘッドセットの通話ボタンを長押しします。
- 割り込み着信に応答した後、通話する相手を切り替えるには、ヘッドセットの通話ボタンを約１秒以内に２回押します。通話中だった相手との通話は保留になります。
- 保留中の通話がある場合は、ヘッドセットの通話ボタンを押すと通話中の相手との電話が切れます。
（携帯電話によっては、保留中の電話が通話に切り替わる場合と、保留中の電話も同時に切れる場合があります。携帯電話の取扱説明書を参照してください。）

※一部の携帯電話では、ヘッドセットでの割り込み着信の拒否、通話切替、終話操作ができません。携帯電話の取扱説明書を参照してください。

※マルチポイント機能で２台の携帯電話を接続している場合は、２台の携帯電話の通話状態によって、割り込み着信応答ができない場合があります。

音声の転送

- 携帯電話で通話中に音声をヘッドセットに転送するには、ヘッドセットの通話ボタンを押すか、携帯電話で操作します。
- ヘッドセットで通話中に音声を携帯電話に切り替えるには、携帯電話を操作します。

※携帯電話の操作で音声を転送する方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

マルチポイント機能

VH410では、マルチポイント機能を有効にすると、１つのヘッドセットで同時に２台の携帯電話を接続できます。マルチポイント機能を利用するには､ヘッドセットのマルチポイント機能を有効にする必要があります。

※マルチポイント機能を有効にした場合は、ヘッドセットの電池の消耗が早くなります。

※１台の携帯電話のみと接続する場合は、マルチポイント機能を無効にしてください。

※出荷時は、マルチポイント機能は無効になっています。

マルチポイント機能を有効にする

1. ヘッドセットの電源をオフにします。
2. 充電ランプが緑色と赤色の交互に点滅するまで電源ボタン①を長押しします。
3. 音量ボタンの「＋」側を電源ランプがオレンジ色に２回点滅するまで長押しします。

マルチポイント機能を無効にする

1. ヘッドセットの電源がオフにします。
2. 充電ランプが緑色と赤色の交互に点滅するまで電源ボタン①を長押しします。
3. 音量ボタンの「－」側を電源ランプがオレンジ色に１回点滅するまで長押しします。

マルチポイント機能で２台の携帯電話の着信に応答する

- マルチポイント機能で２台の携帯電話と接続している状態で、１台目の携帯電話と通話中に２台目の携帯電話に着信があると、通知音でお知らせします。
- ２台目の携帯電話の着信に応答するには、ヘッドセットの通話ボタンを押します。通話音声は２台目の携帯電話に切り替わりますが、１台目の携帯電話の通話も維持されます。
- ２台目の携帯電話の着信を拒否するには、通知音が鳴るまでヘッドセットの通話ボタンを長押しします。
- ２台目の着信に応答した後、通話する相手を切り替えるには、ヘッドセットの通話ボタンを約１秒以内に２回押します。通話音声は切り替わりますが、切り替える前の相手との通話も維持されます。
- ２台目の着信に応答した後、通話中の相手との電話を切るには、ヘッドセットの通話ボタンを押します。通話中の相手との電話が切れて、もう１台の携帯電話との通話に切り替わります。

ヘッドセットのリセット

ヘッドセットが正しく動作しない場合は、ヘッドセットをリセットします。
ヘッドセットをリセットするとペアリングされている機器の情報が削除され、出荷時の状態に戻ります。

ヘッドセットをリセットする

1. ヘッドセットの電源をオフにします。
（電源がオフにできない場合は、電源ボタン①を約10秒以上長押しして、電源をオフにしてください。）
2. 充電ランプが緑色と赤色の交互に点滅するまで電源ボタン①を長押しします。
3. ヘッドセットの電源がオフになるまで音量ボタンの「－」側と「＋」側を同時に長押しします。

電池

電池の残量が少なくなると、通知音と充電ランプの点滅でお知らせします。そのまま使用を続けると、約10分後にヘッドセットの電源が自動的にオフになります。
長時間使用していない場合は、充電容量が低下して、数回の充電が必要になることがあります。

電池残量を確認する

- ヘッドセットの電源がオンの状態で、電源ボタン①または音量ボタンを押します。
  - 充電ランプが緑色に点灯：電池残量「多」
  - 充電ランプが赤色に点灯：電池残量「少」
  - 充電ランプが消灯：電池残量がなくなり、電源がオフになっています。

切断通知

携帯電話やその他の機器との *Bluetooth* 接続が切れると、通知音でお知らせします。

技術基準適合証明などを確認する

ヘッドセットのカバーを取り外すと技術基準適合証明などを確認できます。（図６を参照）

※ヘッドセットのカバーを取り外すときは､カバーの隙間に爪などを入れてカバーを引き上げてください。無理に取り外そうとするとヘッドセットの破損やケガの原因になりますのでご注意ください。

トラブルシューティング

携帯電話、その他の機器に接続できない

- ヘッドセットが充電されているか確認します。
- ヘッドセットと接続したい機器が通信範囲内にあることを確認します。通信範囲は、障害物でさえぎられていない状態で約10m以内で使用することをおすすめします。
- 携帯電話、その他の機器側で本ヘッドセットが選択されていることを確認します。
- 携帯電話、その他の機器側で *Bluetooth* 設定を確認するか、接続し直します。
- ヘッドセットのペアリングをもう一度やり直します。

電源がオフにできない

- 電源ボタン①を約10秒以上長押ししてください。

正しく動作しない

- ヘッドセットをリセットします。

主な機能

ハンズフリー通話

- 音途切れがしにくいeSCO（extended SCO）対応
- 高音質な通話を可能にするエコーキャンセルとノイズリダクションを搭載
- マイクミュート機能搭載
- 割り込み着信に対応し、簡単操作で切り替え可能

マルチペアリング対応

- ８台までの携帯電話とペアリング可能

マルチポイント対応

- ２台の携帯電話と同時に接続できるマルチポイント対応

Bluetooth 標準規格 Ver.2.1 採用

- 簡単にペアリングできるSecure Simple Paring（SSP）に対応

付属品

- 充電器（1）
- イヤーパッド（S/M/L　３サイズ　各１）
- イヤーフック（1）
- ネックストラップ（1）

主な仕様

ヘッドセット	通信方式	*Bluetooth* 標準規格　Ver.2.1+EDR
	出力	Power Class 2
	通信距離	約10m
	使用周波数帯域	2.4GHz (2.4000GHz ~ 2.4835GHz)
	対応 *Bluetooth* プロファイル	HFP (Hands-free Profile) Version 1.5 HSP (Headset Profile) Version 1.1
	電源	内蔵リチウムイオン充電式電池
	連続通話時間	約10時間
	連続待受時間	最大約350時間
	外形寸法	25.2mm × 18.0mm × 50.4mm
	質量	11.6g
	マイク部	全指向性エレクトレットコンデンサー型
充電器		入力：100-240V AC 100mA
		出力：DC 5.0V 550mA

FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Any change or modification not expressly approved by Sony Ericsson may void the user's authority to operate the equipment.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This device complies with RSS-210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.
This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Declaration of Conformity for VH410

We, **Sony Ericsson Mobile Communications AB** of
Nya Vattentornet
SE-221 88 Lund, Sweden
declare under our sole responsibility that our product
Sony Ericsson type DDA-0002030
and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards **EN 300 328:V1.7.1, EN 301 489-7:V1.3.1, EN 301 489-17:V2.1.1 and EN 60 950-1:2006** following the provisions of, Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment directive **1999/5/EC.**

Lund, April 2010

CE 0682

Jacob Sten,
Head of Product Business Unit Accessories

We fulfil the requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC).
我们符合 R&TTE 指令 (1999/5/EC) 的要求。
本公司符合 R&TTE Directive (1999/5/EC) 中的規定。
R&TTE 指令 (1999/5/EC) に適合しています。

本機の仕様及び外観は、予告なく変更することがあります。

Sony Ericsson Mobile Communications AB
SE-221 88 Lund, Sweden
1234-1319.2
Printed in Japan